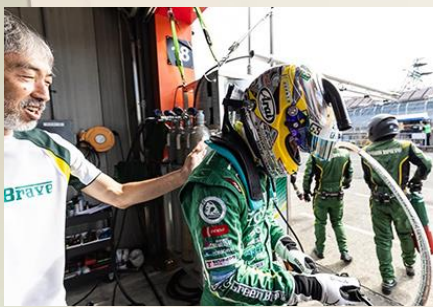


ENEOS スーパー耐久シリーズ2023 Supported by BRIDGESTONE  
第5戦 もてぎスーパー耐久5Hours Race

## 予選 2位 / 決勝 2位



### スーパー耐久 第5戦 もてぎ大会、2位！

ランキング首位で迎えた折り返しとなる第5戦。  
ストップ&ゴーのモチギはブレーキに負荷がかかるコース。  
サクセスウェイト80Kgの重さがきいてきます。  
さらに、外気温は35℃と、とにかく厳しい戦いになりました。

#### ●9/2(土) 予選

9月に入ったとはいえ気温は下がらず、路面温度も高いまま。  
例年以上に過酷な状況のため、暑さ対策として、エンジンを冷やす特設ファンをチームが用意してくれました。

予選結果はADライバー山崎選手が1位、BDライバー吉田選手は6位。AB合算の総合結果でクラス2位、フロントローを獲得しました。  
CDライバー服部選手が8位、Dドライバーとしての自分は2位。それぞれの予選中に決勝を想定して車両チェックを行い決勝を迎えます。

#### ●9/3(日) 決勝

朝からぐんぐん気温が上がり、暑いレースがスタート。

スタートドライバーは吉田選手。今回は各ドライバーが均等に75分ずつ走行する作戦です。  
順調に周回を重ねる中、マシンのエアコンに不具合が発生。38周目でピットに入り服部選手に交代するも、この時点でエアコン停止。服部選手は大変な暑さの中で走り切り、67周でピットイン。マシンを止めないために、少しでも症状を改善と、メカニックが奮闘。ピットのわずかな時間に調整し、送風が復活。クールスーツと送風で、何とか状況は改善しました。給油とタイヤ交換を行い、山崎選手が103周まで走行。自分は最後のステント担当です。次のピットインでは給油とドライバー交代のみでタイヤは変えません。乗り込んだ時点のポジションは2位、トップとは10秒のギャップがありました。  
今回、4脱のパナルティがあり、ここまでの累積結果から自分のステントでは絶対に4脱はできません。タイヤもどんどん厳しくなる中、ポジションを落とさずにチェッカーまで走り切ることがミッションです。  
コースイン後、ST-2クラスで車両火災が発生しFCY。幸いドライバーに怪我はなく、マシン回避後に解除。タイヤを労わり、このパートでは絶対4脱をしないよう慎重に周回を重ねていきます。  
丁寧に走行しプッシュすることで最後はトップまで0.7秒へと追い上げ、無事、2位でチェッカーを受けました。

マシンの重さと決勝のトラブルを踏まえつつ、チャンピオンシップに重要なポイントを取ることができました。  
チームの総力を挙げて獲得できたポイントです。  
沢山の応援、ありがとうございました。

次戦は 10/21-22、岡山大会、3時間耐久レースです。  
チャンピオンシップを見据え、確実に結果を出せるよう準備を進めます。  
引き続き、ご声援のほど、よろしくお願いいたします。